

日前・国懸神宮所蔵「諸郷奉分畠所当注文」

野 田 阿 紀 子

一 「永仁の大検注」と検注帳

永仁三年（一二九五）三月二十二・二十三日、日前・国懸神宮（以下、日前宮）の封郷二十ヶ郷（表2参照）で、一斉正検注が実施された。これは、日前宮の式年遷宮における検注であり、文永六年（一二六九）以後の西大寺律宗・叡尊教団および法燈派・無本覚心等による神領興行活動を背景としたものである。^①

和歌山市秋月に鎮座する日前宮は代々紀国造が奉斎し、古代においては、日前宮六十一戸、国懸神宮六十五戸の神戸を所持する延喜式内明神大社であった。^②しかし、その後十二世紀に入ると、大治二年（一一二七）の和田川流域における塩入荒野開発、^③保延六年（一一四〇）の神宅新莊の立券等^④を主導し、神戸・封戸を便補し、神宮周辺の一円神領化を図り、嘉禎四年（一二三八）には「日前・国懸宮四方指写」^⑤にあるように、日前宮領の四至を明確化し、ついには文永以後の神領興行によって中世的領主権力へと変貌を遂げたのである。

表 1 永仁3年(1295)3月銘の検田畠取帳ならびに関係帳簿

帳簿名		年月日	所蔵*1	刊本	備考
1	新永沼郷新田畠取帳	永仁3年(1295)3月23日	日前宮(原)	(本籍)	【諸郷奉分畠所当注文】とともに帳綴じ
2	吉田郷検田畠取帳	永仁3年(1295)3月23日	日前宮(原)	【中世日前宮領の研究】(*2以下同) 【吉田郷検田畠取帳のうちA本】	
3	吉田郷検田畠取帳 断簡	—	日前宮(原)	【中世日前宮領の研究】 【吉田郷検田畠取帳のうちB本】	
4	吉田郷検田畠取帳	永仁3年(1295)3月23日	日前宮(原)／ 東京大学史料編纂所(影)／ 常民文化研究所(筆) (*3以下同)	【中世日前宮領の研究】 【吉田郷検田畠取帳のうちC本】	
5	大田郷検田畠取帳	永仁3年(1295)3月23日	東京大学史料編纂所(影)	畠田香嶺ほか 永仁三年大田郷検田畠取帳>(*4)／ 【史料紹介 永仁三年大田郷検田畠取帳】(*4)／ 【中世日前宮領の研究】 【大田郷検田畠取帳のうち東大史料所蔵本】	
6	大田郷検田畠取帳	永仁3年(1295)3月23日	日前宮(原)	【中世日前宮領の研究】 【大田郷検田畠取帳のうち原文書】	全紙紙背文書あり
7	秋月郷検田畠取帳	永仁3年(1295)3月22日	日前宮(原)／ 東京大学史料編纂所(勝)／ 常民文化研究所(筆)	【中世日前宮領の研究】	日前宮所蔵本では「光弘御方御名出畠等注文」 (康暦2年(1380)6月7日)とともに帳綴じ
8	本有真郷検田畠取帳	永仁3年(1295)3月23日	日前宮(原)／ 常民文化研究所(筆)	【中世日前宮領の研究】	【津奈郷検田畠取帳】「本有真郷検田畠取帳」 【新有真郷検田畠取帳】で1冊(帳綴じ)
9	新有真郷検田畠取帳	—	日前宮(原)／ 常民文化研究所(筆)	【中世日前宮領の研究】	
10	津奈郷検田畠取帳	永仁3年(1295)3月23日	日前宮(原)／ 常民文化研究所(筆)	【中世日前宮領の研究】	
11	有家郷検田畠取帳	永仁3年(1295)3月23日	日前宮(原)／ 常民文化研究所(筆)	【中世日前宮領の研究】	検田取帳の末尾に「正平22年(1367)8月13日」の銘あり
12	小宅郷検田畠取帳	永仁3年(1295)3月23日	日前宮(原)	(未刊) (*5)	
13	小宅郷検田畠取帳	永仁3年(1295)3月23日	日前宮(原)	(未刊)	
14	田尻郷検田畠取帳	永仁3年(1295)3月23日	日前宮(原)	(未刊)	
15	田尻郷検田畠取帳 断簡	永仁3年(1295)3月23日	日前宮(原)	(未刊)	
16	田尻郷検田畠取帳并畠分名寄帳	検田取帳：永仁3年(1295)3月22日 名寄帳：永徳2年(1382)8月22日	日前宮(原)	(未刊)	検田取帳の末尾に「正和4年(1315)8月 日」の銘あり
17	神前郷検田畠取帳	田：不明 畠：文永11年(1274)6月2(21カ)日	日前宮(原)	(未刊)	
18	忌部郷検田畠取帳	永仁3年(1295)3月23日	日前宮(原)	(未刊)	検田取帳の末尾に「永仁6年(1298)7月10日」銘あり
19	和太郷検田畠取帳	永仁3年(1295)3月23日	日前宮(原)／ 常民文化研究所(検田取帳のみ)(筆)	検田取帳：【中世日前宮領の研究】	
20	内原郷検田畠取帳	永仁3年(1295)3月23日	日前宮(原)／ 常民文化研究所(筆)	【中世日前宮領の研究】	
21	諸郷奉分田所当注文	永仁3年(1295)	日前宮(原)／ 国立資料館史料館／ 常民文化研究所(筆)	【中世日前宮領の研究】	
22	諸郷奉分畠所当注文	—	日前宮(原)	(本籍)	このほか、「新永沼郷新田畠取帳(永仁3年(1295)3月23日)」、「西野新畠取帳」「菊豆嶋」「田尻定本畠」「預所名品」「有本郷定畠(永和2年(1376)11月)」「有本郷一年中預所兼諸役事」とともに帳綴じ
23	諸郷畠田反別名寄帳	—	日前宮(原)／ 常民文化研究所(筆)	【中世日前宮領の研究】	
24	諸郷田畠注文	—	日前宮(原)	(未刊)	このほか、「永沼郷内新畠帳」「宮王御方新畠改本帳(建「」4月日)」「新津郷新畠(建徳2年(1371)4月日)」「新津郷内畠帳(応永9年(1403)6月)」「北中嶋新畠帳」とともに帳綴じ
25	田尻郷刀狩郷得分注文并年中進物注文	観応2年(1351)8月7日	日前宮(原) 2冊／ 常民文化研究所(筆)	【中世日前宮領の研究】	

*1 所蔵欄：(原)→原文書、(影)→影写本、(勝)→謄写本、(筆)→筆耕本
 *2 科研報告書『和歌山平野における荘園遺跡の復元研究—中世日前宮領の研究—』(海津一郎編、2006年) 第1章附録史料「永仁検注帳・奉分帳」
 *3 所蔵欄に複製の機関名が記載されているものは、同一内容の史料が記載機関に所蔵されていること示す。
 *4 『和歌山市木田・黒田地域総合調査 地理・歴史調査報告』、1969年所収
 *5 未刊とされている帳簿については、一括で史料翻刻の予定である。

この一連の神領化の総仕上げに行われた永仁の正検注では、各封郷の検田畠取帳と、収納台帳である諸郷奉分田畠所当注文が作成された。これら帳簿類には、永仁期日前宮領内に広がる田畠等の耕地や水利、さらにはそこに暮らす住民の構成や屋敷地・祭祀空間に至るまで、日前宮領を構成する様々な要素が描かれている。さらにこうした要素は、中世後期和歌山平野に展開する紀州「惣国」の土台になるものとして、中世の和歌山平野を考える上でも非常に重要なものである。

拙稿では、これらの帳簿を用いて、一部であるが永仁期の日前宮領の景観復元等を試みた⁽⁶⁾。しかし、それは写本を利用したものであり、また全ての封郷の検討を行えたわけではなく、多くの課題を残している。だがその後、所蔵者である日前宮のご理解を得て、現存する全ての永仁検注帳類の調査・撮影を行うことができ(二〇〇五年十一月)、それにより、表1の二十二冊・二十五種類の未刊帳簿を含む関係帳簿の存在が確認された。表1では、それら帳簿の一覧に加え、明治期の東大史料編纂所による調査、一九四九～五十年の日本常民文化研究所による史料調査時に影写本・謄写本・筆耕本が作成されているものの存在と対応関係について、また、科研報告書『和歌山平野における荘園遺跡の復元研究―中世日前宮領の研究―』の中で翻刻している、写本の存在する九ヶ郷分の検田畠取帳、諸郷奉分田所当注文など合計十一冊分の史料について⁽⁸⁾も示している。この調査により、これまでその全容が明らかではなかった帳簿を含め⁽⁹⁾、多数の帳簿が確認され、不完全であった日前宮領の構造検討が大きく進むことになる。これら史料は後に一括した形で翻刻し、それに基づいた全体的な検討も別の機会に行うが、本稿ではまずそれに先んじて、二〇〇五年の調査時に発見され、『本紀大畧』⁽¹⁰⁾では「〇〇郷畠田分帳 年月日未詳」として一部紹介されているものの、その全体像がどのようなものであるかまでは不明であった「諸郷奉分畠所当注文」を紹介する。これは、後述の如く、各郷の永仁検注取帳や既刊の「諸郷奉分田所当注文」と深く関わりをもち、日前宮領の生産・経営状況を考える上で非常に大きな役割を果たすものであり、その重要性を鑑み、ここで翻刻・紹介する次第である。

二 「諸郷奉分畠所当注文」の位置付け

(一) 原史料の状況

「諸郷奉分畠所当注文」の概要解説に入る前に、まず本史料の形態について簡単に触れておく。

「諸郷奉分畠所当注文」は、「新永沼郷新田新畠取帳（永仁三年三月二十三日）」「西野新畠取帳」「菟豆嶋」「田尻定本畠」「預名畠」「有本郷定畠（永和二年（一三七六）十一月）」「有本郷一年中預所殿諸役事」の七種類の帳簿等とともに綴じられた一冊の縦帳（横・一七・七cm×縦・二十四・七cm）となっている。¹¹ これら、ともに綴じられている帳簿等は、新永沼郷や西野、菟豆嶋、有本郷など紀ノ川に隣接した地域に関係するものであり、紀ノ川流路の変遷や開発に関わる重要史料であるが、検討は後に改めて行うこととし、史料翻刻のみとしておく。

(二) 永仁三年検注取帳と諸郷奉分田畠所当注文

それでは、「諸郷奉分畠所当注文」の永仁帳簿群の中で位置付けを検討していく。

まず、この史料の性格を考える上で重要となる史料は「諸郷奉分田所当注文」¹²である。これは、表2掲載の十五ヶ郷の田地について、百姓名・預所名・刀祢名・刀祢名公事料・出作・塩地分などを名寄帳としてまとめ、一筆ごとに斗代計算し、除田・定田、除米・定米を算出したものである。この帳簿から、日前宮領に存在する百姓名や刀祢名・預所名等に加え、公文名や別名、さらには寺社および神官・職能民らの給免田などの多様な属性の耕地のうち、所当のかかるものは上記の約六種類である等、収取の規則性に注目される。¹³ さらには、紙幅の都合上詳述できないが、永仁三年の検田取帳を名ごとにまとめたものとの比較を行うと、面積や地名表記に若干の差異はあるものの、この二種類の帳簿データはほぼ一致していることから、検田取帳を基にした田の収納台帳であると考えられる。

表2 諸郷奉分田畠所当注文・永仁検注取帳対応表

「諸郷奉分田所当注文」 記載の郷	対応帳簿番号	備 考	「諸郷奉分畠所当注文」 記載の郷	対応帳簿番号	備 考
秋月郷	7-(田)		(秋月郷カ)	7-(畠) 【一部のみ】	当出作のみが対応
新葎津郷	(なし)		新葎津郷	(なし)	
新永沼郷	1-(田)		本永沼郷	1-(畠)	
本有真郷	8-(田)	百姓則友名に属する1筆は 秋月郷に記載	本有真郷	8-(畠)	
忌部郷	18-(田)		新有真郷	9-(畠)	ただし、出作の1・2筆目は 異なる【一宮敷地河成により 変更】
有家郷	11-(田)(畠)	検田取帳記載の刀称公事料 1筆を、「刀称名畠公事料」 として記載	忌部郷	18-(畠)	検田取帳では出作とされて いるものが、次の通りに細 分化され記載。出作・本新 出作・新出作・常不作
小宅郷	13-(田)		津秦郷	10-(田)(畠)	検田取帳記載の刀称公事料 4筆を、「刀称名公事料」と して記載
大田郷	6-(田)	百姓則友名に属する1筆は 秋月郷に記載	小宅郷	(なし)	
黒田郷	(なし)		大田郷	6-(畠)	ただし、6の料紙順検討部分 ②の位置(*2)は、5に準ず る
神前郷	17-(田)	検田取帳では1筆として記 載されているものが、数筆 に分筆され記載されている ものあり	黒田郷	(なし)	
和太郷	19-(田)	検田取帳では1筆として記 載されているものが、数筆 に分筆され記載されている ものあり	神前郷	17-(畠)	出作の人物名に相違多し
田尻郷	14-(田)	検田取帳では1筆として記 載されているものが、数筆 に分筆され記載されている ものあり	和太郷	19-(畠)	検田取帳では出作とされて いるものが、次の通りに細 分化され記載。出作・常不 作
内原郷	20-(田)(畠)	検田取帳の預所名を「預所 畠」、同・刀称名を「刀称名 畠公事料」として記載	田尻郷	16-(畠)	
毛見郷	(なし)	「諸郷奉分田所当注文」も 欠損のためか、記載なし	吉田郷	2-(田)(畠)	
船尾郷	(なし)	「諸郷奉分田所当注文」も 欠損のためか、記載なし	有本郷	(なし)	

*1 対応番号表欄の数字は、表1に対応する。また、(田)は検田取帳、(畠)は検畠取帳を指す。
*2 本文註(8) 第1章4節附録史料 永仁検注帳・奉分帳一2号

対して、本史料も十五ヶ郷(表2)の畠について、百姓名・預所名・刀称名・刀称名公事料・出作等を名寄帳としてまとめたものであり、それらの畠地を除畠・定畠とに区別し、定畠にかかる所当を算出した帳簿である。これによれば、日前宮領の畠地には麦・油・大豆・大豆草、塩塚にあっては塩(月別)、塩畠では銭と大豆といった所当が賦課されていることが判明する。また、永仁三年の検畠取帳を名ごとにまとめ直したもののと比較から、若干の差異はあるが、ほぼ一致しており、田と同様、永仁三年の検畠取帳に対する畠の収納台帳と考えられる。

このように、「諸郷奉分田所当注文」と「諸郷奉分畠所当注文」は、永仁三年の検注取帳との関係性や記載に関する規則が同一であることから、田・畠

の収納台帳として対をなすものである。この二帳簿を利用することで、田畠それぞれの経営状況や収納が判明し、日前宮領の包括的な構造化理解がようやく可能となる。さらに、田と畠の差異、特に所当賦課の方法の違い等の検討もできる。両帳簿を対比させると、田では一筆ごとに斗代が計算されていたが、畠では名ごとに麦・大豆の数量をまとめて算出しているに過ぎず、実際どのような作物が生産されていたか、一筆ごとの収穫量やそれに対する所当率等についての記載がない。畠作は住民達の再生産の場であり、また市場流通などにも絡む重要要素であることから、こうした田と畠の差は重要視されるべきであり、それゆえにこれらの史料の持つ意味は非常に大きいといえる。⁽¹⁵⁾

続いて、「諸郷奉分田所当注文」「諸郷奉分畠所当注文」の相互の関係について触れておきたい。

「諸郷奉分田所当注文」のみで検討していた際には、永仁検注取帳との関係が不明であった郷の記載があった。⁽¹⁶⁾

一つは、検注取帳が確認されていないにも関わらず、「諸郷奉分田所当注文」に記載のある郷についてである。その一として新永沼郷があったのだが、「諸郷奉分畠所当注文」とともに綴じられている「新永沼郷新田新畠取帳」が確認され、その記載と「諸郷奉分田所当注文」の記載が一致した。このことから、新蘇津郷・黒田郷・有本郷についても、その検田畠取帳はいつしか失われてしまった、あるいは未だ確認されていないだけで、本来は存在していたために、その記載があるのだと考えられる。

次に、吉田郷や津秦郷など検田取帳も存在し、記載すべき名があるにも関わらず、その記述が「諸郷奉分田所当注文」に見られなかった郷がある点について。詳しく検田畠取帳と諸郷奉分田畠所当注文との内容を比較検討すると、津秦郷については、「刀祢名公事料」として記載されている耕地が検田取帳に記載されている「刀祢公事料」と一致していることから、地目としては田でありながら、所当計算時には畠として扱われていたためであることが判った。ただし、その理由については不明である。また、吉田郷については「諸郷奉分畠所当注文」の吉田郷の総計を記載した箇所に「本郷荷前事」という但書きがあり、それによれば、田が全て畠化してしまったため、文永十一年

に田役が免ぜられ、畠の所当を本来田に賦課される荷前に宛てられることになったとされている。そこで永仁検注帳との耕地比較を行うと、吉田郷検田取帳に記載されている各名や出作に属する田地が、「諸郷奉分畠所当注文」の各項目に畠として記載されていることがわかる。このことから、検田取帳記載の田は、実は畠化した田であり、所当計算時には畠として荷前の代が賦課される耕地であったために、「諸郷奉分田所当注文」には記載されていないかったということになる。他郷についてもよく見れば、この吉田郷の事例とは逆に「諸郷奉分田所当注文」では有家郷や内原郷のように「刀祢名畠公事料」として畠が算出されている例もある（これらは除田）⁽¹⁷⁾ことから、検注取帳だけではうかがい知ることのできない各耕地の本質が明らかになるのである。

以上、他帳簿との関係から本史料の性格、永仁帳簿群の中での位置づけを行ってきた。結果、検注取帳や「諸郷奉分田所当注文」との関係性の深さから、本史料は永仁の正検注の際に作成されたものと考えられる。「諸郷奉分畠所当注文」には前欠のため、確実となる作成年代は分からないものの、対になる「諸郷奉分田所当注文」の「永仁三年 勘定」との記載からも同年代作成との説は妥当だろう。しかし、一点注意すべき記載があることを指摘しておきたい。それは、新有真郷のうち、出作の一・二筆目「紀三所三杜西 一反 河成」「同杜巽 一反小 河成」の但書きである（六十八頁下段）。そこには、この二筆は元紀三所畠であったのだが、一杜の敷地が河となってしまうため、新たな敷地を勾当垣内の三反大に変更し、不足分の小は、本有真郷から寄進するとある。新有真郷検畠取帳には、これに対応する部分として「出当垣内一反大 出六十歩」「出当垣内 一反大 出六十歩 自文永年中成一宮御敷地」、さらに本有真郷検畠取帳には「同（室垣内）北 二反三百歩 出半 燈油 但不成 但一宮森跡立替之、新有真出作成云々 紀三所」⁽¹⁸⁾があり、二冊の比較から、「諸郷奉分畠所当注文」の但書きは文永年中の出来事を記したものであり、またその本文記載は敷地変更以前のものの、対して検畠取帳のそれは変更後のものであることが判る。よって、「諸郷奉分畠所当注文」は文永年中以後、永仁の正検注前に作成されたとも考えられるが、前述してきた如

く、他の永仁帳簿との関係性から、ここでは永仁三年の作成と考えておく。後考に期したい。

以上、非常に粗雑ではあるが、「諸郷奉分畠所当注文」の永仁帳簿群の中での位置づけを行ってきた。今後は、これを踏まえ、既刊・未刊の永仁帳簿と合わせ、日前宮領の諸要素を複合的に検討することが急務の課題である。

- (1) 藺田香融・山口隆・吉村正代「史料紹介 永仁三年大田郷検田畠帳」(『和歌山市太田・黒田地域総合調査 地理・歴史調査概報』、一九六九年所収)、海津一朗「永仁の大検注」と日前宮領興行」(海津一朗編 科研報告書『和歌山平野における荘園遺跡の復元研究―中世日前宮領の研究―』、二〇〇六年 所収)
- (2) 「新抄格勅符抄」(和歌山市史(以下、市史) 平安時代(二)―一二号)
- (3) 「紀伊国在庁官人等解案」(市史 平安時代(二)―一九〇号)。この開発に関しては、拙稿「中世雑賀の塩入荒野開発―日前宮領和太郷の塩堤・新溝―」(『和歌山地方史研究』第五十一号、二〇〇六年七月)にて検討している。
- (4) 「大伝法院陳情案」(市史 平安時代(二)―一二〇号)、「大伝法院僧徒重解案」(市史 平安時代(二)―一二三〇号)
- (5) 市史 鎌倉時代―六八号
- (6) 拙稿「日前宮領の村落景観と名体制―永仁三年(一二九五) 検田畠取帳から―」(海津一朗編 科研報告書『和歌山平野における荘園遺跡の復元研究―中世日前宮領の研究―』、二〇〇六年 所収)
- (7) 海津一朗「総論・和歌山平野の中世文書」(海津一朗編 科研報告書『和歌山平野における荘園遺跡の復元研究―中世日前宮領の研究―』、二〇〇六年 所収)
- (8) 第一章四節「附録史料 永仁検注帳・奉分帳」
- (9) 官幣大社 日前神宮・国懸神宮社務所『本紀大畧』(一九一六年)により、未刊帳簿を含め所蔵史料の概要が把握できる。しかし、その全容については詳らかではなかった。
- (10) 前掲(9)
- (11) この原史料は永仁期のものではなく、後世の写本であろうと考えられる。永仁三年銘を持つ「新永沼郷新田新畠取帳」、また同年作成と見られる「諸郷奉分畠所当注文」と永和二年銘を持つ「有本郷定畠」の筆が同じであり、ある時期にまとめて書写されたものと見られるためである。

- (12) 前掲(8)―九号
- (13) 前掲(6) 拙稿
- (14) 和太郷には「栗林」が記載されており(八十一頁上段)、栗が収穫されていたと見られるが、所当欄にはその存在は見えず、実際の生産作物と所当に差があることが予測される。
- (15) 木村茂光『日本古代・中世畠作史の研究』(一九九二年、校倉書房)。
- (16) 前掲(6) 拙稿
- (17) 前掲(6) 拙稿
- (18) 前掲(8)―四号。なお、ここでいう「一宮」とは、紀三所社の一つを指す。「諸郷奉分畠所当注文」中の「一社」も同義。この紀三所社は『紀伊続風土記』によれば、伊達・志摩・静火三神を祭るものといひ(卷之十二 名草郡神宮郷 太田村「廃紀三所社」の項)、永仁帳簿群によれば、新有真郷に一宮と三宮(ただし、三宮については、「秋月郷検畠取帳」(前掲(8)―三号)の「新畠分」の地名に「紀三所三宮西」と見え、文永以後秋月郷内に移されたのか、あるいは、秋月郷が新有真郷と隣接していることから、新有真郷内に残されているのか、その所在が判然としない)、小宅郷に二宮(表1 No.12・13「小宅郷検田取帳」に「麦代(田)一町内 (中略) 一反 出六十歩 紀三所道代 二郎丸・百姓名ノ一反 出六十歩 同紀三所道代 大法師 禰宜」との記述がある)があったと見られる。また、『紀伊続風土記』にも「卷之十二 名草郡神宮郷 太田村 廃紀三所社」「同 鳴神村 廃祠四社」「同 手平村 廃紀三所二之宮」の各項に記載がある。

【凡例】

- 一、字体は原則として常用漢字を使用した。
- 一、合点についてはで示した。
- 一、原本に欠損があり、判読できない箇所がある場合は、その字数を推測して□□で示し、字数の推測できないものは、その範囲を「」で示した。

- 一、原本に塗抹がある場合は、その文字が判読できるものは、文字の左側にゝゝを付け、判読できないものは、■で示した。
- 一、文意の通じない箇所には（ママ）、補注するも疑問のある場合には（○カ）と傍注した。
- 一、本文以外の部分には、上下に「」をつけ、（異筆）と注記した。

諸郷奉分畠所当注文（和歌山市秋月・日前国懸神官所蔵）

（前欠）（秋月郷カ）

大豆二升 同草一束

出作 力蔵垣内南一反 乙法師

已上一反 麦一斗 油三合

大豆六升 同草六束

当出作

河北小 平五郎

同所六十歩 薪捨
同沙汰

同所三反小 薪捨
作人同

同所西百歩 成願

同所西小 宇治藤太郎

已上七段小廿歩内

薪捨 三反半

現作 三反三百廿歩

麦七斗八升七合六勺

油一升一合八勺

刀祢名

部賀後北三反三十歩 出小

已上三段半三十歩内

本畠二反九十歩

出畠小

都合壱町現段三百五拾歩内

除畠七段三百三十歩

刀祢名公事料三反半三十歩

紀三所三宮西一反 刀祢沙汰

同所西一反 祢宜

同所西百歩 犬法師丸

塚原北大 生法師

飯垣道祖神北六十歩

河成三百歩	同所小 <small>出六十歩 江田</small>	国明枝西大 刀祢沙汰
蒔捨二反半	若嶋上半 仲六	若嶋大 <small>出小 惣次郎</small>
定畠一町二段二拾歩	六十谷堺二反 <small>大法師 助則</small>	同所一反 刀祢沙汰
分麦二石四斗二升八勺内	同所一反大 則景	同所小廿歩 成願
除麦七斗	同所大 紀源次	同所大 <small>河成半 刀祢沙汰</small> 定畠六十歩
索餅代一斗	同所大 安弘	同所大 河成 守貞本給
麦草代二斗	刀祢名	
京上夫粮料四斗	佐口四段半 河成	高田北一反半
定麦一石七斗二升八勺	若嶋一町	六十谷堺大
分油三升六合二勺九才内	同所一反	小中嶋一反半
分大豆五斗七升九合九勺内	已上壱町九段六十歩内	
除大豆一斗六升	河成四反半	
小豆代一斗	現作一町四反大	油四升四合
京上夫粮料六升	麦二石九斗三升三合三勺	
定大豆草四拾八束	同草八十八束	
○新解津郷第二		
出作	大豆八斗八升	
佐口二反 <small>河成 雑賀藤次本作</small>	同公事料	
同所一反 成願	六十谷堺五段	
	都合四町三段百一拾歩内	
	高田東一反半 刀祢沙汰	
	同所半 成願	

除畠一町五段三百步

刀祢名公事料五反

河成七段大

蒔捨三段六十步

定畠一町八段廿步

分麦五石六斗一升四合二勺

分油八升四合一勺七才

分大豆菰石六斗八升三合三勺

分大豆草百六十八束

〇〇本永沼郷第三

当出作

三森東川原二反内 薪捨半
見作一反半

已上二段内

蒔捨半 現作一段半 分麦三斗
分油四合五勺

〇〇本有真郷第四 出作

出作

墓垣内北一反 出三十步
恒景

同所一反 未友

同所一反 安弘

南池田上一反大 重近

仲五垣内二反 出大 刀祢沙汰

已上七段小三十步内

本畠六反大 麦一石三斗三升三合三勺 油二升
大豆四斗 同草四十束

出畠大三十步 麦一斗四升九合九勺 油二合二勺五勺
大豆四升五合 同草四束

刀祢名

東野西一反半

安弘垣内二反

已上三反半 麦七斗 油一升五勺
大豆二斗一升 同草廿一束

都合一町三百三十步

分麦二石八升三合二勺

分油三升二合七勺五才

分大豆六斗五升五合

分大豆草六十五束

〇〇新有真郷第五 出作

紀三所三杜西二反 河成

同杜巽一反小内 河成

已上二所者 本紀三所畠也、而彼一社成河之

間、次当郷本出作勾当垣内三反大為彼

社敷地、仍次彼杜畠所立代也、但小不足

者仲畠小自本有郷寄進致也、

河傍一反半 出六十步
仲八

同所大 楠石

同所二反半 惣檢校

同所大 弥二郎

同所小 里神免	同所六十步 熊石太郎	同名公事料
栗栖塚小 楠石	筋飼西一反 <small>出六十歩 弥二郎案主</small>	千注三反
同所一反 仲官	堂垣内小 安弘	都合二町八段小廿歩内
河傍南一反 弥源二案主	同所半 <small>出六十歩 成願</small>	除畠六段大
同所半 今案主	同所八十歩 同	刀称名公事料三反
同所一反 同	当垣内東一反 弥次郎案主	里神免小
柚柑垣内二反 孫太郎	同所南一反六十歩 西入	河成三反小
同所一反小 弥次郎○人有延 <small>神</small>	道祖神南東一反 雑色花次	定畠二町一段大廿歩
音明神前大 太郎丸	同所小 安弘	分麦四石三斗四升四合
已上二町二反廿歩内		分油六升五合一勺七才
里神免小 河成三反小		分大豆一石三斗三合六勺
本畠一町七反三百廿歩		分大豆草百三十
麦三石五斗七升七合七勺	油五升三合六勺六才	○忌部郷第六 百姓恒景名
大豆一石七升三合三勺	同草百七束	橋本三十歩 新畠
出畠半 <small>麦一斗 油一合五勺 大豆三升 同草三束</small>		安居寺北一反半 <small>出半 屋敷</small>
刀称名		已上四反小三十歩内
河傍南半	堂垣内東半	三百
音明神前一反小		本畠三反○三十歩
已上三段小 <small>麦六斗六升六合六勺 油一升 大豆二斗 同草廿束</small>		麦六斗一升七合八勺 油九合二勺五才

大豆一斗八升五合 同草十八束

出畠一反小 麦二斗六升六合六勺 油四合
大豆八升 同草八束

百姓恒時名

牛神上一反

六地藏南一反 出小

現覺寺前一反 出半

横尾西大

三荷寺大

禪生小

瓜生野六十步

戸垣内二反

安居寺北一反半

出小
屋敷

已上九段半内

本畠八段小

麦一石六斗六升六合六勺 油二升五合
大豆五斗 同草五十束

出畠一反六十步

麦二斗三升三合三勺 油二合五勺
大豆七升 同草七束

百姓友重名

窪田河小 出卅步

同南四十步

田中大

牛神上半

同所小

橋本一反小 出三十步

杜垣内二反 出小

已上五段大四十步内

本畠五段百步

麦一石五升五合五勺 油一升五合八勺三才
大豆三斗一升六合六勺 同草廿一束

出畠半

麦一斗 油一合五勺
大豆三升 同草二束

出作

大谷半 出三十步 小官

窪田河一反小 国枝

横尾西六十步 仲四郎

三荷寺大 虎案主

橋本半 出半卅步 国守

江頭一反六十步 出卅步 国恒

同所一反半 出半 安弘

同所一反半 出一反小
觀音太郎

杜垣内半 心成

同所一反半内 半国枝御方御墓所
一反 安重

同所一反

同所小 西念

安居寺東二反

出小
弥太郎屋敷

同所一反小 金丸

瓜生野小 藤源次後家

安居寺西大 觀音案主

同所百步 藤源次後家

同北大 藤源次後家

長志門西脇小 仲八

已上二町半二十步内

本畠一町六反大四十步

麦三石三斗五升五合五勺 油五升三勺四才
大豆一石六合六勺 同草百束

出畠三反大四十步内 除半 御墓所

定三反百步

麦六斗五升五合五勺 油八合八勺三才
大豆二斗九升六合六勺 同草十九束

本新出作

藤谷一反 不作石王

具定半三十步 岩次郎

同所百步 入政

同所大 太郎案主

同所小 藤八

小寺小 岩次郎

松尾一反 鳴神大祢宜	大谷一反 刀祢沙汰	藤谷大 權太郎	具定小 又次郎
同所一反小 刀祢沙汰	同所小 藤八	大谷小 藤八	牛神上半 不作 清官
同所四十歩 小官入道	同所南波太郎半 豊後太郎	已上四段内 不作大	
同所小 紀三郎	同所一反 清官	本畠三反小 <small>麦六斗六升六合六勺 油一升</small>	
六地藏三十歩 仲四郎	三荷寺百歩 <small>不作 鬼太郎</small>	当出作	
同所南五十歩 小官入道	橋本半卅歩 <small>出四十歩 小官入道</small>	神前堺三十歩 楠太郎	藤谷六十歩 西蓮
同所四十歩 龜楠	梅崎百歩 藥師太郎	梅崎六十歩 西蓮	同所廿歩 石太郎
同所半 代一		同東八十歩 龜楠	同所六十歩 大野太郎
已上一町三百廿歩内		橋本百歩 親善入道	同所廿歩 弥王
本畠九段半 秋所当自今年万済之次彼定		同所五十歩 心代	堺松西廿歩 代一
麦一石九斗 油二升八合五勺		禪生西廿歩 中三次郎	現覺寺前古道廿歩 刀祢
大豆五斗七升 同草五十七束		牛神上半 清官入道	同上三十歩 不作 弥王子
出畠四十歩 子細同前		同跡四十歩 弥藤太子	同前小 三郎案主子
麦二升二合二勺 油三勺三才		同所三十歩 權次郎	同北廿歩 古溝 刀祢
大豆六合六勺		同下六十歩 <small>古道 藤拾 今案主</small>	北影尾北小 權次郎
不作一反百歩		小寺具定東波太一反 但加南北定摩ニマ聲	
新出作		坂戸池南波太半 弥 <small>(法カ)</small>	同道北波太二十歩 雜仕權太郎
山寺東小 禪光	同所半 禪光	藤谷小池上一反 <small>不作 石王</small>	坂戸池北波太一反 <small>時捨 刀祢</small>
同所大 <small>不作 足四郎</small>	同所大 刀祢沙汰	同二十歩 平太郎	

已上六段大四十歩内 不作一反三十歩

蒔捨一反六十歩

現作四段半十歩 麦九斗
油一升二合五勺

常不作

山寺北大

坂戸池北三十歩

藤谷半

同所南波太一反

大谷三百歩

南影尾四十歩

牛神西一反

同所半

同上大

梅崎四十歩

已上五反小五十歩

預所名

牛神大

現覺寺二反内 不作小
現作一反大

杜垣内一反小

安居寺東二反大

已上六段大内 不作小

現作六段小

麦一石二斗六升六合六勺 油一升
大豆三斗八升 同草三十八束

刀祢名

琵琶頸一反

三荷寺六十歩

江頭小

杜垣内一反 出半

安居寺西一反小 出六十歩

同所北小

今園一反半 出

已上七段百歩内

本畠六段百歩 麦一石二斗五升五合五勺
油一升八合八勺三才勺
同草三十七束

出畠一反 麦二斗 油二合
大豆六升 同草六束

都合八町三段小内 除畠一町半
不作八段二百歩

御墓所半

蒔捨一段六十歩

定畠七町三百歩

分麦十四石一斗六升一合八勺内

除一石三斗

京上夫粮料九斗

麦草代三斗

索餅代一斗

定十二石八斗六升一合八勺

分油二斗一升二合四勺二才

分大豆三石七斗七升八合内

除二斗

京上夫粮料一斗 小豆代一斗

定三石五斗七升八合

分大豆草三百七十七束

○○○津秦郷第七 出作

中塚一反半 出三十歩
安里等

鶉池一反小 新太郎

同所半

同所四十歩

長畠大 佛念

同所二反 刀祢沙汰

本畠二反 出田九十步

部賀畠半 刀祢沙汰

倍培半 刀祢沙汰

都合一町七段小四十步 油二反半三十步

北青田傍半 出三十步
安弘

今園一反 立 立四郎

除畠二反大三十步 刀祢公事料
田二反半三十步

同所一反 出廿步
千代石

津野垣内大 刀祢沙汰

郎等田北半 刀祢沙汰

中垣内小 備藤次

分麦二石九斗四升四合四勺

同所三百步

瓜畠東一反小 武重

分油四升四合一勺六才

同所北一反小 守恒
北

堂前半 刀祢沙汰

分大豆八斗八升三合三勺

已上一町四段大廿步内

〇〇小宅郷第八 出作

本畠一町四反半 麦二石九斗 油四升三合五勺
大豆八斗七升 同草八十七束

沼真門大 出六十步
楠

杜本一反 千手王次郎子

出畠八十步 麦四升四合四勺 油六勺六才
大豆一升三合三勺 同草一束

已上一反三百步内

刀祢公事料

本畠一反大 麦三斗三升三合三勺 油五合
大豆一斗 同草十束

長畠一反

北青田傍一反 出卅步

出畠六十步 麦三升三合三勺 油五勺
大豆一升 同草一束

良等田傍大

当出作

已上一段大三十步内

宇瀨一反半 蒔拾
左衛門太郎 同南小 蒔拾權太郎

本畠二反大 出畠三十步

同南西一反六十步内 蒔拾半 見作大
惣次郎

同名田公事料

已上一段内 蒔拾二反小

久木一反

日出坪小

畠田坪小 出三十步

部様大 出六十步

現作大 麦一斗三升三合三勺 油二合
大豆四升 同草四束

已上一段半三十步内

刀祢名

柚木垣内二反

田畔一反半

已上三反半

麦七斗 油一升五勺
大豆二斗一升 同草廿束

都合八段小内 除二反小 蒔捨

定畠六段

分麦二石二斗

分油一升八合

分大豆三斗六升

分大豆草三十六束

〇〇大田郷第九

出作 堂西百步 明乘

杜北小 土用石

琵琶田小 出九十步
土用石楠丸

同所大 出十步
津秦藤七

同所二反小 定使

碁子狹三反 有友本作

同所小 有安本作

同所一反 出六十步内 半不作
大現作則景

安樂一反 出小
新藤次入道

同所一反 觀音女

同所小 弥五郎

井垣内二反 出十步
則久

安樂一反半 不作

引船一反 不作 弥五郎

千住大 雖被入一名御方御名
但本帳所加也

同所一反百步 賢琳

同所小 鶴丸

同所一反 出六十步
竹熊

杜東小 出三十步
新次郎

蛙淵二反 河成一反半見作半
孫太郎本作

高木西六十步 乙楠

已上二町三百四十步 河成一反半 不作三反

本畠一町五反小廿步

麦三石七升七合七勺 油四升六合二勺六才

大豆九斗二升三合三勺 同草九十二束

出畠一反廿步

麦二斗一升一合一勺 油三合一勺六才

大豆六升三合三勺 同草六束

当出作

楠見分田西二反内 蒔捨一反見作一反
刀祢沙汰

同北大 蒔捨刀祢沙汰

同北六段内

蒔捨二反半
不作一反半
刀祢沙汰定畠二反

已上八段大内

不作一反半

蒔捨四段六十步

現作三反

麦六斗

油九合

刀祢名

碁子狹一反 出六十步
不作

同所一反 出六十步

同所二反 出六十步
半

安樂一反小

蓮池小 出六十步
半
六十步

井垣内一反 出五十步

禪行江一反 六十歩河成 安樂一反 出七十歩

引船大 高木大 在小

蛙渚一段六十歩 出半河成 天馬久里三反 出三十歩

杜東小 出六十歩 同所小 出六十歩

千住半

已上一町七段大三十歩内

河成二段三百歩 不作一反

定畠一町二反六十歩

麦二石四斗三升三合三勺 油三升六合五勺

大豆七斗三升

出畠一段大三十歩

麦三斗四升九合九勺 油五合二勺五才

大豆一斗五合 同草十束

同別納 此別納者、當時先任前御沙汰別被納了、是則非定式、隨時有御計者也、

安良加三反 琵琶田大 出九十歩

同所一段 出五十歩 碁子狭大 出小

蓮池一段六十歩 出九十歩 井垣内二反半 出小三十歩

已上一町小廿歩内

本畠九段 出畠一段小廿歩

都合五町七段大三十歩内

除畠二町七段小廿歩

刀祢別納一町小廿歩

河成四段小 不作五段半

蒔捨四段六十歩

定畠三町三反小十歩

分麦六石六斗七升 分油二斗七才

分大豆一石八斗二升一合六勺

分大豆草百八十二束

〇〇 黒田郷第十 百姓恒利名

阿良加一段小 同北二反

筋飼三反大 出小 四角田傍三百歩

恒利家西三反三百歩 恒利屋敷二反六十歩内

新蘇津郷高田東一段 河成一反六十歩見作一反

已上一町六段六十歩内 河成一段六十歩

本畠一町四段大

麦二石九斗三升三合三勺 油四升四合

大豆八斗八升 同草八十八束

出畠小 麦六升六合六勺 油一合大豆二升 同草二束

出作

阿良加三百步 武枝

同所三百步 同

田村垣内二反 同

筋飼大 同

堂北半 平三

已上四段三百步

麦九斗六升六合六勺 油一升四合五勺

大豆二斗九升 同草廿九束

当出作

須久裳田北一段大内 蒔捨大 見作一反
刀称沙汰

同東一反内 現作半不作半
刀称沙汰

同東一反大内 蒔捨一反 見作大

已上四段小内 不作半
蒔捨一反大

現作二反六十步 麦四斗三升三合三勺
油六合五勺

刀称名

北安良加半

田村垣内小

同所一反小

堂北一反 出小

已上三段半

本畠三段六十步 麦六斗三升三合三勺 油九合五勺
大豆一斗九升 同草十九束

出畠小 麦二升六合六勺 油一合
大豆二升 同草二束

同名公事料 阿良加二反 田村垣内二反

須久裳田傍二反

已上六段

都合三町四段三百步内

除畠九段小 刀称名公事料六段

河成一段四十步 不作半 蒔捨一反大

定畠二町五段半

分麦五石一斗内 除麦三斗五升

麦草代三斗 京上夫粮料一斗五升

定麦四石七斗五升 分油七升六合五勺

分大豆一石四斗内 除大豆二斗五升 京上夫
粮料

定大豆一石一斗五升 分大豆草百四束

〇〇 神前郷第十一 百姓秋守名

中言前半 新畠 東山本西二反 北垣内二反大

倍々木一反 出小四十步 仲檢校垣内南大 出小

砂生一反 中嶋大 田尻堺小 出半

瓜生野一反半

已上一町一段半四十步内

本畠一町小 麦二石六升六合六勺 油三升一合
大豆六斗二升 同草六十二束

出畠一段百歩

麦二斗五升五合五勺 油三合八勺三才

大豆七升六合七勺 同草七束

百姓貞末名

菅原三段小 出小 屋敷 同所一段六十歩 出小五十歩

東山本小 新畠 柚木垣内一反 曾祢田一反半 出百歩

仲檢校垣内南一反六十歩 出六十歩 砂生大

瓜生野一反半

已上一町一段三百三十歩内

本畠一町大 麦二石一斗三升三合三勺 油三升二合 大豆六斗四升 同草六十四束

出畠一段九十歩 麦二斗四升九合九勺 油三合二合 三合七勺五才 大豆七升五勺 同草七束

百姓友近名

中言前半 新畠

野塚西一反小 出一反 屋敷

同所一反 天馬垣内一反小 出小四十歩

曾祢田二反 出半 千本小 出三十歩

已上九段半十歩内

本畠七段半 麦一石五斗 油二升二合五勺 大豆四斗五升 同草四十五束

出畠一反十歩 麦四斗五合五勺 油六合八才 大豆一斗二升一合七勺 同草十二束

百姓恒久名

倉垣内一反

拜度一反

倍々木二反 出百歩

焼野大

屋四郎垣内三反半 出一反半 本瓜一反半

千本東大

拜度小

已上一町二反小四十歩内

本畠一町大 麦二石一斗三升三合三勺 油三升二合 大豆六斗四升 同草六十四束

出畠一段大四十歩 麦三斗五升五合五勺 油五合 三〇 大豆一斗六合七勺 同草十束

百姓国友名

東山本二反半 出一反五十歩 塚垣内小

柚木垣内二反半 千本大

已上七段五十歩内

本畠六段 麦一石二斗 油一升八合 大豆三斗六升 同草三十六束

出畠一反五十歩 麦二斗二升七合五勺 油三合四勺 大豆六升八合三勺 同草七束

百姓宗重名

高木三反 出小四十歩 屋敷 曾祢田一段 出小

楠木垣内一反小 出小 仲檢校垣内二反 出半

屋四郎垣内二反小 出六十歩 紀三畔六十歩 不作

千本一反 出百歩

已上一町二反三百廿歩内 不作六十歩

本畠一町大 麦一石一斗三升三合三勺 油三升二合
大豆六斗四升 同草六十四束

出畠一段廿步 麦四斗一升一合一勺 油六合一勺六才
大豆一斗二升三合三勺 同草十二束

百姓友景名

倉垣内一反

天馬垣内半

田畔半 出四十步

楠木垣内一反半 出一反

仲檢校垣内南一反小 出大
屋敷

西垣内二反 出一反

已上九段半四十步内

本畠六段三百步 麦一石三斗六升六合六勺 油二升四勺
大豆四斗一升 同草四十一束

出畠一段大四十步 麦五斗五升五合五勺 油八合三勺三才
大豆一斗六升六合六勺 同草十六束

百姓友房名

野塚西垣内二反 出大
本神宮寺畠

橋北一反

北垣内西一反 出小四十步

笠松一反半

同所一段

本瓜一段半内 不作半
見作一反

已上九段四十步 不作半

本畠七段半 麦一石五斗 油二升二合五勺
大豆四斗五升 同草四十五束

出畠一段四十步 麦二斗二升二合 油三合三勺三才
大豆六升六合六勺 同草六束

末恒名畠六七反ナリ

出作

野塚六十步 不作

柚木垣内一反 山津井

西垣内一反 出小
田相後家

同南大 相願

拜度一段 国弘

笠松半 出十步
鶴石

同所半 出三十步
藤八

曾祢田半 出半
元近

同所一段 出半
元近

同所一反 出六十步
友光入道

同所一反 守重子

同所半 友光入道

櫻垣内一段 出六十步
平三郎子

燒野大 国守

仲檢校垣内一反 出三十步
友光入道

已上一町三段小十步内 不作六十步

本畠一町一反小 麦二石一斗六升六合六勺 油三升四合
大豆六斗八升 同草六十六束

出畠一段三百十步 麦三斗七升二合一勺 油五合五勺八才
大豆一斗一升一合六勺 同草十一束

(異筆)
一酒殿守名

末恒名畠二丁一反四十步内

／＼出一反三百四十步

預所名

卒都婆本三反

棧垣内二反小

已上五段小 麦一石六斗六升六合六勺 油一升六合
大豆三斗二升 同草三十二束

刀祢名 池垣内三反

已上三反 麦六斗 油九合
大豆一斗八升 同草十八束

都合十一町七段二十步内

除畠三百歩 不作

定畠十一町六段八十歩

分麦二十三石一斗四升三合二勺内

除麦二石九斗

索餅代二斗 京上夫粮料二石七斗

／定麦二十石三斗四升三合二勺

分油三斗四升八合六勺六才内

除油二斗九升一合五勺 本御燈油

／定油五升七合六才内

又除四升八合五勺六才 安守御別納

此別納者、當時先任先御沙汰別被納了、

是則非定式、隨時為御計者也、

／残定油八合五勺

分大豆六石九斗六升七合六勺内

除大豆三斗七升 小豆代一斗

京上夫粮料二斗七升

／定大豆六石五斗九升七合六勺

／分大豆草六百九十六束

〇〇〇
和太郷第十二

百姓守里名

小追垣内一反 出六十歩

已上五段三百歩内

本畠五段大 麦一石一斗三升三合三勺 油一升七合
大豆三斗四升 同草三十四束

出畠六十歩 麦三升三合三勺 油五勺
大豆一升 同草一束

百姓重国名

小追垣内一反 出小

重国屋敷二反小 出大

重国家西北一反大 出小

東山崎一反半 出小

已上八段六十歩内

本畠六段半 麦一石三斗 油一升九合五勺
大豆三斗九升 同草三十九束

出畠一段大 麦三斗三升三合三勺 油五合
大豆一斗 同草十束

百姓末友名

井垣内一段半 出半

小追垣内二反 出小

中嶋大 出六十歩

同所小

塩田東大 屋敷

已上六段六十歩内

本畠五段六十歩 麦一石三斗三升三合三勺 油一升七合
大豆三斗一升 同草三十一束

出畠一段 麦一斗 油一合
大豆六升 同草六束

百姓末延名

雨切山北四段 出半
屋敷

柚木垣内大 出小

中嶋小

雨切一段六十步

已上七段内

本畠六段六十步 麦一石二斗三升三合三勺〇
大豆三斗七升 同草二十七束
油一升八合五勺

田 三百步
出畠六段 麦一斗六升六合六勺
大豆五升 同草〇束
油一合五勺

百姓久友名

守里門三反 出小

久友屋敷三反 出三百步

已上七段六十步内

本畠六段 麦二斗三升三合三勺
一石二斗 油一升八合
大豆三斗六升 同草三十六束

出畠一段六十步 麦二斗三升三合三勺
大豆七升 同草七束
油三合五勺

百姓末重名

山崎二反 不作

同所上平 不作

倍垣内西一段六十步 屋敷

下走小 出小

奥門一段大 出半

壘三小 出小

雨切西三反小 不作

同所一段

中嶋小 出六十步
中元在所

已上一町二段内

申元在所半 加出

不作五段三百步

本畠四段半 麦九斗 油一升三合五勺
大豆二斗七升 同草二十七束

出畠一段六十步 麦一斗三升三合三勺
大豆七升 同草七束
油三合五勺

百姓有弘名

藤垣内大 出小

灰田六十步 出四十步

有弘垣内一反半

已上二段大四十步内

本畠二段小 麦四斗六升六合六勺 油七合
大豆一斗四升 同草十四束

出畠小四十步 麦八升八合八勺 油一合三勺三勺
大豆二升六合六勺 同草二束

百姓為弘名

東山崎大 出小

安行事垣内三反

御正作垣内三反

壘三平

山崎小

已上七段三百步内

本畠七段半 麦一石五斗 油二升二合五勺
大豆四斗五升 同草四十五束

出畠小 麦六升六合六勺 油一合
大豆二升 同草二束

出作

塩田東三百步 出半
行成

仲行事垣内傍一反半 出六十步 金丸

秦太山小 重岡

重国門半 出六十步 得正

雨切山西三百步 出六十步
行成

秦太山下八十步 重久

堂東小 <small>新畠 源太</small>	東山崎一反 <small>出大 菊御子</small>	同所六十步 <small>石五郎 源太</small>	山崎一反小 <small>石五郎</small>	倍垣内小十步 石五郎	倍垣内西一反 貞弘	釜山北半廿步 明智	奥門一反 花次	東谷六十步 <small>出六十步 行成</small>	秦太山百步 明智	同所九十步 有友	雨切六十步 余一	同所小 源太	已上一町三反内	本畠一町一反六十步 <small>麦二石二斗三升三合三勺 油三升三合五勺 大豆六斗七升 同草六十七束</small>	出畠一段三百步 <small>麦三斗六升六合六勺 油五合五勺 大豆一斗一升 同草十一束</small>	常不作	雨切半 <small>新畠 勝二郎</small>	同所小 <small>栗林 末弘</small>	同所六十步 余一	同所西六十步 末弘	同所一反四十步 <small>栗林 重里</small>	同所西一反小 末弘	同所大 友重	同所半四十步 友弘	同所三十步 末弘	秦太山二反 福万	同所一反 惣介	已上九段半
------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	--------------------------	------------	-----------	-----------	---------	----------------------------------	----------	----------	----------	--------	---------	--	---	-----	-------------------------------	------------------------------	----------	-----------	----------------------------------	-----------	--------	-----------	----------	----------	---------	-------

当出作	乘京畑二反内 <small>蔭捨半 尺迦九郎</small>	新畠一反半	大阿子小 石五郎	山崎西上一反 源太	雨切乾一反 源太	已上四段小五十步内 蔭捨半	現作三反三百五十步 <small>麦七斗九升四合三勺 油一升九合一才 大豆二斗三升八合三勺 同草廿三束</small>	預所名	里神垣内一反小 出小	末延垣内 出小廿步	下走一反半	同所一反半 出六十步	井垣内小 <small>出九十步 申元在所</small>	已上六段大五十步内 御免分五段 加出	所当分一段大五十步 <small>麦三斗六升一合 油五合四勺二才 大豆一斗八合三勺 同草十束</small>	刀称名	西崎半 出六十步	下走一反 出六十步	同所一反 出六十步	奥門大 出小	同所一反	奥畔百步	雨切半	中嶋小 出大	同所半 出大	已上七段三百四十步内 御免分三反 加出
-----	------------------------------------	-------	----------	-----------	----------	---------------	---	-----	------------	-----------	-------	------------	-----------------------------------	--------------------	--	-----	----------	-----------	-----------	--------	------	------	-----	--------	--------	---------------------

所当分四段三百四十步

麦九斗八升八合八勺 油一升四合八勺三才

大豆二斗九升六合六勺 同草二十九束

都合九町八段大内 除畠二町四反小

申元在所半 常不作九段半

蒔捨半 不作五段三百步

預所刀祢名御免分八段

定畠七町四段小

分麦十四石八斗六升六合六勺内

石

除麦二石六斗 索餅代二斗

京上夫粮料二石四斗

定麦十二石二斗六升六合六勺

分油二斗二升二合七勺九才

分大豆四石四斗六升内

除大豆四斗 小豆代一斗

京上夫粮料三斗

定大豆四石六升

分大豆草四百四十六束

○○○田尻郷第十三

百姓恒行名

鍛冶垣内一反 天満免

同所半 塩畠

渕波太一反 出二反 塩畠

瓜生野一反 出六十步

塩塚小

恒行屋敷一反半 出半 塩畠

已上一町四段小三十步内

天満免一反

塩畠六段大 錢四百五十二文 大豆二斗

瓜生野并出畠分○内 一反六十歩 一寄進畠、殘定畠二反 六十歩

○五段半

麦一石一斗 油一升六合五勺

大豆三斗三升 同草三十三束

百姓正恒名

堀畠大 塩畠

同所一反 塩畠

若宮大 塩畠

沙生大 出三百歩 塩畠

相先生垣内半 出半 塩畠

第五常二反 出二反小 塩畠

西崎大 塩畠

稗田小 出六十歩 塩畠

塩塚小三十歩

月別塩代

塩塚一反九十歩

錢四百五十二文

一反六十歩 一寄進畠、殘定畠二反

六十歩

油一升六合五勺

同草三十三束

百姓正恒名

鍛冶垣内一反大 出六十歩 塩畠

第五常一反 出半 天満免

同所小 塩畠

正恒屋敷半 塩塚

已上六段半内

天満免一反

塩塚半 月別塩代

塩畠四段小 錢二百九十四文
大豆一斗三升

畠

出○大 麦一斗三升三合三勺 油二合
大豆四升 同草四束

百姓貞光名

渌波太小 出大
塩畠

同所一反半 出大
塩畠

塩塚東一反 天満免

同坪半 出半
塩畠

塩塚一反

塩塚大

坂田口二反半 出一反屋敷
塩畠

同所小 塩畠

已上一町大内

天満免一反

塩塚一反大 月別塩代

塩畠五反六十步 錢三百五十文
大豆一斗五升五合

出畠一反三百步

麦五斗六升六合七勺

油八合五勺

大豆一斗七升

同草十七束

百姓近恒名

塩畠一反 出三十步
天満免

同所大 出小
塩畠

沙生一反 出一反小
塩畠

相先生垣内一反 出小
塩畠

西垣内大 塩畠

机嶋一反 出一反
塩畠

塩塚半

南山本一反 出半
塩畠

塩塚四十步

已上一町半十步内

天満免一反

塩塚半四十步 月別塩代

塩畠五反小 錢三百六十文
大豆一斗六升

出畠三反半三十步 麦七斗一升六合六勺 油一升七勺五才
大豆二斗一升五合 同草二斗一升五合 同草廿一束

姓

百○末弘名

鍛冶垣内一反 天満免

同所一反 塩畠

沙生一反 出六十步

同坪半 塩畠

楠木垣内二反半 出一反半
塩畠

同所一反小 出小
塩畠

第五常大 出大
塩畠

同所大 出大

南山本六十步 出小

塩塚四十步

坂田西小 出卅步
塩畠

已上一町三反十步内

天満免一反

塩塚四十步 月別塩代

塩畠六段小 錢四百三十文
大豆一斗八升

本畠一反三百步 麦三斗六升六合六勺 油五合五勺
大豆一斗一升 同草十一束

出畠三反大卅步 麦七斗四升九合九勺 油一升一合二勺五才
大豆二斗二升五合 同草廿二束

百姓恒弘名

堀畠六十步 出九十步 塩畠

第五堂一反 出小 塩畠

塩塚小

同東一反 出半 塩畠

西崎小 塩畠

若宮一反 出小 塩畠

塩塚六十步

塩塚六十步

津野垣内大 塩畠

已上八段九十步内

塩塚大 月別塩代

塩畠六段六十步 錢四百十九文
大豆二斗八升五合五才

出畠一反小卅步

麦二斗八升三合二勺 油四合二勺
大豆八升五合 同草八束

出作

鍛冶垣内一反大 金丸 塩畠

相先生垣内一反 金丸

同坪六十步 金丸 塩畠

寺垣内一反半 出半 国恒 塩畠

溯波太一反 出六十步 金丸 塩畠

第五堂大 出半 国恒 塩畠

木古利東小 相忍

同所大 西定

瓜生野小 出三百步 加賀房

若宮一反 金丸 塩畠

同所大 出六十步 金丸

同所一反 出小 金丸 塩畠

井垣内傍半 出四十步 金丸 塩畠

同所一反小 出半 惠大 塩畠

坂田口一反 出大 惠大

同所大 出六十步 相忍 本畠歇

同所大 与一後家 子細同前

已上一町七段半四十步内

塩畠八段三百步 錢六百文
大豆二斗六升五合

本畠五段小

麦一石六升六合六勺 油一升六合

大豆三斗二升 同草三十二束

出畠三反小四十步

麦六斗八升八合八勺 油一升三勺三才

大豆二斗六合六勺 同草二十束

預所名

鍛冶垣内一反 出百步 塩畠

楠木垣内一反半 出一反 塩畠

垣根垣内一反小 出小 塩畠

溯波太太

木古利一反 出半 本畠

同所小 塩畠

西崎一反 塩畠

若宮一反 出六十步 塩畠

貞澤屋敷一反 塩畠

琵琶垣内一反半 出半 塩畠

已上一町四段四十步内

塩畠一町一段三百四十步 錢七百六十六文
大豆三斗五升六合〇

本畠二反六十步 麦四斗三升三合二勺 油六合五勺
大豆一斗三升 同草十三束

刀祢名

沙生一反小 塩畠

坂田北小 塩畠

坂田口 出小塩畠

已上五段半

塩畠錢三百七十二文

大豆一斗六升五合

都合十町半四十歩内

除畠五段 天満免

定畠九町五段半四十歩

塩塚四段大五十歩

分塩月別三斗五升

塩畠六町百歩

分錢四貫四十四文

分大豆一石八斗七勺

所当畠三町半十歩

分麦六石一斗五合五勺内

除麦二石四斗五升

瓜生野大 出六十歩
塩畠

禪田一反 出小
塩畠

利守家東一反 塩畠

索餅代二斗

麦草代六斗

京上夫粮料一石六斗五升

定麦三石六斗五升五合五勺

分油九升一合五勺八才

分大豆一石八斗三升一合六勺内

除大豆二斗八升

小豆代一斗 京上夫粮料一斗八升

定大豆二石五斗五升一合六勺

分大豆草百八十三束

○○吉田郷第十四

百姓友恒名

江田三百歩

江頭小 出十歩
不作

同所一反 出六十歩

追捕使作一反小

大垣内五段内 河成三反
見作二反

嶋空二反内 出六十歩
不作二反小
見作三百歩

同所二反

江波太一反

江田一反 出六十歩

同所一反小

天神池西一反内 河成三百歩

江口二反小

江西一反 出八十歩

同所一反 出六十歩

貝柄小 出六十歩

垣内二反 出小

同所二反半 出六十歩
屋敷

尾鳥田上二反

御墓町一反 出六十歩

已上三町大三十歩内 河成三反三百歩
不作一反六十歩 加出

本畠二町三反大

出畠一反半廿歩

百姓友松名

西石橋大

江田一反六十歩 出六十歩

上大路二反半

堂西三反半 出六十歩

鶏足垣内二反 出小

杜西三反三百歩

已上三町三反内

本畠三町一段大

出畠三百歩内 河成半

出作

御墓町一反小 百姓捨地
刀祢沙汰

御墓町二反 出六十歩
同

北水丁田一反 出六十歩
同沙汰

天神池西三反内 河成二反小
見作大
信房光枝

上大路大 出大新出六十歩
百姓捨地刀祢沙汰

野々江戸三反六十歩 新案次郎

已上一町二反小内 河成二反小

本畠九段 出畠一反

新出作 本当出作也

天神池一反

薮 薮津塚大 不作

杜西六段内 不作三反
見作三反

江田一反半内 不作一反
見作半

古佃二反三百歩内 不作二反半
見作小

北水丁田二反半 出大
新出九十歩

内 不作大
見作二反大廿歩

松澤坪四段小内 不作二反
見作二反小

已上一町九段大三十歩内

不作九段三百歩 加出定

本畠九段三百三十歩

当出作

引船一反百歩内 薮捨半見作大四十歩
則久

同南一反内 薮捨半見作半
新置次郎

同東一反 薮捨
足三郎

同東大 薮捨
觀音四郎

同東六十歩 薮捨
清房

已上四段四十歩内 薮捨二反三百歩
現作一反百歩

常不作

堂前二反大	同所一反	狼垣内一反内 <small>河成六十歩 見作三百歩</small>	江波太一反
上大路傍一反半	友房屋敷南小	同所半	江田一反六十歩 不作
堂前二反	同所二反大	同所八十歩	松澤坪三百歩
江田堂前二反	同所一反	焼田長一反	野々江戸一反半 蒔捨
已上一町三反六十歩内		杉作一反小	筋飼一反小
預所名		里神垣内二反 出百歩	芋垣内一反大
古道六十歩	鳥垣内三反半	畠田坪一反	堂前大 不作
江波太六十歩 出廿歩	同所半 出六十歩	已上一町八段半内 河成一段六十歩	
同所一反 <small>出四十歩 不作</small>	同所太 出五十歩	不作一段三百歩	蒔捨一反半
御墓町二反 出六十歩	鳥垣内三反半 出三百歩	本畠一町三段大廿歩	
筋飼三反 <small>出大 河成二反 見作一反大</small>	的場垣内四段	出畠百歩	
貝柄原二反 出六十歩	波貞垣内一反大	同公事料	
杜西三段 不作	芋垣内一反大 出六十歩	芋垣内七十歩	西石橋二反 同所大十歩
窪二反		同所一反半 出六十歩	同所六十歩 出六十歩 不作 堂前一反 不作
已上三町一反小内 <small>河成二反 不作四段四十歩</small>		江波太八十歩 新作	同所大 <small>古江 新作</small> 同所八十歩 池成
本畠二町三段半		同所六十歩 <small>出小 新作</small> 北水丁田五段 出小	
出畠一段大廿歩		已上一町二段三百歩内	
刀祢名		池成八十歩 不作一反小	
鳥垣内二反内 <small>河成一反 見作一反</small>	西石橋一反	本畠一町百歩 出作一反	

都合十七町五段大四十步内

除畠十二町五段三百廿步

刀祢公事料一町二段三百步

河成九段三百步 常不作一町三反六十步

不作一町七段小十五步 蒔捨四段小

本荷前一町二段大三十步 七斗代田六段半代

分麦五石六斗八升七合五勺 加諸方得分定

分大豆一石八斗三升七合五勺 加定使得分定

此本荷前本者 田七斗代畠二町四段半也、而

畠数纔少之間 田半代畠一段大三十步掛也、

新荷前一町七段半 七斗代田五段代

分麦四石三斗七升五合 加諸方得分定

分大豆一石四斗三升五合 加定使得分定

此新荷前本者 田六段代畠二町一反也、而

畠数纔之間、田一段代畠三反掛也、

弥荷前二町八段 七斗代田八段代

分麦七石

分大豆二石三斗一升

此弥荷前本者 田一町代畠三町五段也、

而畠数纔少之間、田二段代畠七段掛也、

定畠四町九段三百廿步

分麦十二石四斗七升二合四勺内 段別二斗五升也、

除麦一石六斗五升

索餅代一斗 麦草代二斗

京上夫粮料一石三斗五升

定麦十石八斗二升二合四勺

分大豆二石七斗八合六勺内 段別七升也、但新出作当出作等除也、

除大豆一斗四升五合

小豆代一斗 京上夫粮料四升五合

定大豆二石五斗六升三合六勺

当郷荷前事

■〇本

当郷〇者 田畠共雖有之、近来皆依成畠

自去年文永十一年被免田役之間、一段分

夏麦二斗五升、秋大豆七升也、仍□□畠

三反半所当夏麦一石一斗六合 加諸方得分定

秋大豆二斗八升 加定使得分定 宛田一反所当

米七斗九升一合 加私得分定 可切荷前

方之由、被定畢、

○有本郷第十五

百姓藤時名

田代三百歩 出八十歩

丹後垣内小 出三十歩

池南三百歩 出小四十歩

松木垣内二反大

同所二反

貝柄一反 出小

江口三百歩

東龜田大 出六十歩

同所廿歩 出三十歩

中溝二反半 出四十歩

傍示本大 出百歩

同所一反 在十歩

松東二反 六十歩

中溝一反六十歩 出六十歩

東三戸岡二反小

高田西二反大

大歳三反 出半○

同所一反 出六十歩

若宮垣内一反 出六十歩

○三松池南一反小

辻西三反 出小屋敷

已上三町四段半五十歩内

得正別地代給二反

本畠二丁九段半廿歩

麦五石九斗一升一合二勺

油八升八合六勺六才

大豆二石六升八合九勺

出畠二反三十歩 麦六斗一升六合六勺 油九合二勺五才
大豆二斗一升五合六勺

百姓時末名

東龜田一反三百歩 出八十歩

傍示本二反 出廿歩

杜東百歩 出七十歩

田中六段小三十歩 出三十歩

西三戸岡三反三百歩 出小

東三戸岡半

琵琶頸一反小

大歳六十歩 出六十歩

東荒卷傍三百歩

出口三反小

津野田一反小 出六十歩

時末屋敷○ 八反 出半
東六段

時末屋敷八段 出半

已上三町七段半三十歩内 金丸別地代給二反

本畠三町三段三百歩

麦六石七斗七升二合 油一斗一合五勺八才

大豆二石三斗七升二勺

出畠一反大廿歩

麦三斗四升四合四勺 油五合一勺六才

大豆一斗二升六勺

百姓吉守名

南行吹二反大

北行吹三反小

權行事門二反

槌作二反 出大卅歩

東龜田一反九十歩

松本二反内 出四十歩
不作一反半
見作半四十歩

南逆巻三反大 出一反

同所半傍示本三百歩

鵜飼作半

東荒打二反三百歩

時末東三反六十歩

同所半

吉守屋敷八段

已上三町五段四十歩内 久光別地代給二反
不作一反半

本畠二町九段太三十歩

麦五石九斗四升九合九勺 油八升九合二勺五才

大豆二石七升七合五勺

出畠一段三百歩

麦三斗七升二合一勺 油五合五勺八才

大豆一斗三升二勺

預所名

大歳三反 出三百歩

松木垣内二反大 ヤシキ

杜東一反六十歩 出八十歩

竹原垣内一反小 ヤシキ

已上九段八十歩

本畠八段六十歩 麦一石六斗三升三合三勺
油二升四合五勺
大豆五斗七升一合七勺

出畠一段廿歩 麦二斗一升一合一勺 油三合一勺六才
大豆七升三合九勺

刀祢公事料

の場垣内一町半 加政所垣内
定

垣内二反

辻西一反半卅歩

辻東二反

已上一町六段三十歩

都合十三町二段半五十歩内

除畠二町三段半三十歩

神官中別地代給六段

刀祢名公事料一町六段三十歩

不作一反半

定畠十町九段廿歩内

分麦二十一石八斗一升七勺内

除麦二石三斗

杜社上分三斗

素餅代二斗

麦草代三斗

京上夫粮料一石五斗

定麦十九石五斗一升七勺

分油三斗二升七合一勺四才

分大豆七石六斗三升四合内 段別七升

除大豆一石三斗

杜社上分三斗

京上夫粮料一石

定大豆六石三斗三升四合

〇〇新沼郷新田新畠取帳事

新田分 永仁三年 乙未 三月廿三日

傍示本

同西

一所百步 作人成願 一所小 刀祢沙汰

同南一所六十步 作人源六

已上大四十步

新畠分

三森東河原

一所二反内 半 蒔捨 一段半 現作

已上二段内 半蒔捨 一反半見作

老人嶋新畠事

一所 八町五段六十步内 除加納堺論所五段 不作二町四段六十步定

定畠六町内

二町内 一町六段半 見作 三反半 蒔捨 得正

二町内 一町六段 見作 四段 蒔捨 一王丸名

二町内 一町六段 見作 四段 蒔捨 行心

已上六町内 一町一段半 蒔捨 四町八段半 見作所当

一所二段半内 二反見作 蒔捨 国成 半 蒔捨 巴淨 守氏入道本作

老人嶋西

一所四段内 三反小見作 蒔捨 国成 大蒔捨 巴淨 本八 念仏畠

已上六段半内 一反六十步 蒔捨 五段小 見作 所当

都合九町三反大内

不作二町四段六十步

蒔捨一町三反大

定畠五町五段小 除論所当并田分定

〇〇西野新畠取帳事

一所五町五段半内 加出畠定 重久名

二反半 江路不作

残定畠五町三反 所当

一所五町一反半内 加出畠定 楠丸名

半河成 一段不作

残定畠五町 所当

一所四町半内 加出畠定 太郎丸名

六段半 江不作

残定畠三町四段 所当

石丸三町六段 定畠

一所三町七段 所当 得正名

西定作南浦

一所四町七段三百歩内 得正名

一町一段 江分

一町 不作

残定畠一町八段三百歩 所当

一所九段半内 加出畠定 雑色西定

半 江分

残定畠九段 所当

一段大 江分

一段小 不作

半 蒔捨

残定畠一町三段 所当 此内大河成

出四段小 河成

已上二町六段大

一町五段内 石王丸名

一段半 江分

一段半 不作

一段小 蒔捨

残定畠一町大 所当

出八段小

田尻定本畠二丁六反半分

又ウリ名一名分有へし 八反分大豆
四斗八升

い上塩畠三丁四反 反別三升宛

分大豆二石二升



菰豆嶋

一町六段半内 国宗名

預所名畠 文中□□三月□□□□

二反半 マコ大夫

一反 ケム□

一反 ヒマ大夫

一反六十歩

レウマム
□□□□
□□□□

半 ケム十郎□□

半 ケムシ

一反 二郎安主

い上七反大

〇〇〇有本郷定畠事 (一三七六)
永和二年 丙辰 十一月定之

除屋敷九段 残畠七丁四反 折二反ヲ一反ニ

三丁七反ニ屋敷一丁九反ヲ合 定奉分畠

五町六反

麦八一反別二斗四升 定使得分二升九合

油八一反別 竹ノ合ニ 三合宛

大豆一反別六升宛 又コソハカリ一升

〇〇〇有本郷一年中預所殿諸役事

正月ニ称宜ノ餅七折敷有之

五月五日 粉粽十把 御酒一瓶子

七月七日 索餅百棹 御酒一瓶子

九月九日 餅十折敷 御酒一瓶子

節季木一名別二十二荷宛

鳥一番 預所殿節季夫三人欸

牛 田人 草取 麦蒔一名ニ一人宛

一、預所名ハ一段別ニ可有牛田人

節料木同

一、有本御不輸畠 四町八段廿歩内

五反 三年毛被売召□

残四丁三反廿歩ハ每年秋□頭内検申

一、定畠五丁六反大豆

合三石三斗六升内

三斗 杜社上分

一石 京上夫粮料

已上一石三斗

定奉分 二石六升 納一升八「
八合延上へ被召一升二合
預所殿六合被召

延国本斗 二石四斗七升二合

預所殿御得分斗上

一石一斗三升六合国本斗

一、五丁六反 コソハカリ大□ 一反別一升宛

□□合延□

合五斗六升 延国本斗

七斗八升四合

合御得分二石一升 国本斗

三斗三升七合 御代官給

一石六斗八升三合 定御得分

一、預所殿御名六反半四十歩

分大豆三斗九升七合 納一升八国本斗
一升八合三定

延国本斗 七斗一升四合六勺内

一斗四升三合四才 御代官給

定得分 七 一 六勺
五斗七升二合二勺

「 国本斗

已上大豆等得分二石二斗四升五合二勺

御代官給 四斗四升九合二勺 国本斗

一、五丁六反油事 此 一反別三合宛竹合
一町油御元

分油一斗六升八合

延国本斗 三斗三升六合 納一升ヲ延国本斗
「二升

此内

二斗一合六勺 上御油 国本斗

一斗三升四合四勺 預所殿 一升二八合宛
斗上油 国本斗

御代官給二升二合四勺

御

預所殿定油一斗一升二合 国本斗

一、預所名六反半四十歩

合油一升九合九勺三才

延国本斗 三升九合八勺六才内

六合六勺^四才 御代官給

三 三升八合二勺二才預所殿定御得分 国本斗

預所「」

已上預所殿御油一斗四升五合二勺二才

御代官已上油二升九合四才

有本郷御不輸四町八段廿歩内

五反ハ被売召 三年毛

大豆者 五斗五升一勺
屋敷四段小

定畠四丁三反□歩 「」反別

「」所「」

^(二三七八)
永和四年 戊午 秋毛□ 一町代六貫五百文

屋敷四反小 野畠六反内

二反 貝柄 □見 一反 ミトウカ 小 貝柄道寛

一反大 貝柄 一反 ミトウカ 法阿弥

御不輸残分三丁三反廿歩^二

コソハカリハ〇一升ヲ国本斗ノ一升四合延^納

預所殿へ被召

有本郷大豆一反別六升宛コソハカリ一升

大豆納一升ヲ国本斗□□升□「」内

上へハ〇国本斗ノ一升二合「」六合□所□□分
納升ヲ

有本郷公畠事 屋敷外者被成定畠

藤時名

三町一反半十歩内<sup>屋敷二反小、是ハ式之一重
残畠二丁八反七十歩被
成二反ヲ一反□</sup>

定畠一町四反三十五歩

合屋敷一町七反小三十五歩

分麦四石一斗八升三合 納斗定

大豆ハ一石四升五合 コソハカリ一斗七升アリ

時末名

三町三反三百歩内

<sup>八反屋敷出半
残畠二丁五反三百歩
被成二反ヲ一反</sup>

定畠一町二反三百□歩

合屋敷二町三百卅歩

一石三斗 百姓立用
定大豆 二石六升

分麦五石二升 納斗

大豆一石二斗五升 コソハカリ二斗アリ

吉守名

三町一反百歩内 屋敷八反
残畠二丁三反百歩
被成二反ヲ一反

定畠一丁一反半五十歩

合屋敷一町九反半五十歩

分麦四石七斗一升五合 納斗

大豆一石一斗七升八合 コソハカリ一斗九升欵

合定公畠五町七反三百五十五歩

但此内一反三百五十五歩ハ出□田

定御年貢進畠五町六段

定分麦十三石四斗四升 此内十一石二斗上進
二石二斗四升ハ
預所殿御
得分〇

此内二石三斗八百姓立用

名寄帳ニ有之

預所殿二升五反
〇剪粉麦事也

御年貢内国本斗三石俵樂粮物ニ下行

注文此雙紙ニアリ

已上大豆三石三斗六升内